

# 第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会 プレイベント 西村陽平と出会った子どもたち 越境する身体



「愛知県陶磁資料館所蔵品図録Ⅰ」西村陽平  
2012年 愛知県陶磁美術館蔵

千葉県立千葉盲学校の子どもの手による陶芸作品 123 点が、愛知県陶磁美術館に収蔵されている。それらは、美術作家西村陽平氏が教諭として同校に関わった時期に生み出されたものであり、大半は西村氏が担当した小学部の児童によるものである。いずれも盲学校における西村氏の優れた取り組みと子どもたちの努力の成果に他ならないのだが、なによりも先ず作品として観る者を強く惹きつけてやまない。

「越境する身体—西村陽平と出会った子どもたち」と題した今回の展覧会は、その 123 点の作品群の中から直接触れることを前提に選ばれた作品と、西村陽平氏自身の作品によって構成される“鑑賞者個々の身体によって表現を触覚する試み”であり、われわれの身体そのものに潜在し自らを未知の次元へと運ぶ“力”“可能性”に向けた思考の“場”“起点”である。

視覚障害の理解へ向かう本展覧会は、観る者に言語や視覚に縛られる健常者の特性を気付かせます。そして、それは美術自体を豊かにするだけでなく、いじめや争いなどの心の特性の問題にも及ぶ可能性を孕んでいます。

NPO愛知アート・コレクティブ 代表理事 鈴木 敏春

全ての意味や概念を去って、  
物質に、臭いに、味に、音に、光に触れる時、  
鋭敏な感覚器として身体は覚醒し  
眼前の世界は生命の存続に直結する刺激に(満ち)満ちて輝き始める。

愛知県立芸術大学美術学部 教授 神田 每実

愛知県陶磁美術館は、愛知県を特徴づけている陶磁文化の拠点として、やきものを鑑賞し、土に触れ、他者と交流することで、誰もが成長し、また自分らしく幸せに生きるための活動を行います。

愛知県陶磁美術館 学芸課長 佐藤 一信



「風のように」御園政光 (千葉県立千葉盲学校)  
1988年 / 愛知県陶磁美術館蔵 (西村陽平氏寄贈)



「三本足のつぼ」大橋優介 (千葉県立千葉盲学校)  
1995年 / 愛知県陶磁美術館蔵 (西村陽平氏寄贈)

## 併催企画

## 西村陽平トークイベント 入場無料

西村陽平氏によるトークイベントを行い、西村氏と来場者、来場者同士の交流を深めます。

※この講演会は愛知県立芸術大学 芸術講座として開催いたします。

日時 / 2016年7月15日(金) 18時(開場17時30分) ~ 19時30分

会場 / (株)三井住友銀行 SMBCパーク 栄 (会場図参照)

名古屋市中区錦 3-25-20

定員 / 70名

※申し込み不要、先着順。定員に達した場合は、入場をお断りすることがあります。

## 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-21-18 中央広小路ビル 3階  
(広小路通、東急 REI ホテル北向かい) TEL052-253-9016

※愛知県立芸術大学サテライトギャラリーへは、広小路通側から中央広小路ビルに入り、エレベーターで3階までお越しく下さい。

(エレベーター入口幅 90cm)

※直接触れて体感できる作品もございます。



お問合せ先：第16回障害者芸術・文化祭実行委員会事務局

〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2 電話 052-954-6697 FAX 052-954-6920

E-mail: powerofart@pref.aichi.lg.jp

※両会場（愛知県立芸術大学サテライトギャラリー、(株)三井住友銀行 SMBCパーク 栄）とも駐車場はありません。お近くの駐車場を御利用いただくか、公共交通機関を御利用ください。